

令和5年度 中高生等ライフキャリア教育推進事業

サードプレイス総合報告書

令和6年3月31日

一般社団法人 豊かな暮らしラボトリー



第1部 サードプレイスの概要

- p.3 サードプレイス益田拠点の概要
- p.4 サードプレイス高津拠点の概要
- p.5 サードプレイスでできること
- p.6 サードプレイス内で、実施したイベントの抜粋
- p.7 来館者の声（来館者アンケートより）
- p.8 令和5年度の総括

第2部 サードプレイス 益田拠点の月次報告書

- p.9-23 毎月の来館者数と館内の様子
- p.24-55 毎月の実施イベントの様子 - 抜粋

第3部 サードプレイス 高津拠点の月次報告書

- p.56-70 毎月の来館者数と館内の様子
- p.71-76 毎月の実施イベントの様子 - 抜粋

サードプレイスの概要



<益田拠点>

基本開館日 木・金・土曜日

開館時間 平日：16:00~20:00

土祝：13:00~18:00

住 所 益田市幸町8-18



利用者数(延べ)

益田高校	翔陽高校	明誠高校	益田東高校	その他	高校生	中学生	小学生
292名	168名	180名	89名	25名	754名	185名	159名
社会人				社会人	市外の人	専門・大学	総合計
10代・20代	30代	40代	50代以上				
506名	301名	158名	47名	1012名	322名	303名	2,413名

その他来館者情報

リピート率 (2回以上の 来館者の割合)	1日平均 利用者数	高校別 利用登録者数					利用者登録 高校生合計
		益田高校	翔陽高校	明誠高校	益田東高校	その他	
43%	18名	92名	42名	50名	18名	15名	217名



<高津拠点>

基本開館日 水・木・土曜日

開館時間 平日：16:00~18:00

土祝：13:00~17:00

住 所 益田市 高津5丁目 9-45



利用者数(延べ)

益田高校	翔陽高校	明誠高校	益田東高校	その他	高校生	中学生	小学生
18名	383名	8名	24名	82名	515名	335名	3,068名
社会人				社会人	専門・大学	市外の人	総合計
10代・20代	30代	40代	50代以上				
195名	607名	339名	1111名	2252名	0	0	6,170名

その他来館者情報 ※紙での入館登録のため、リピート率・登録者数については計測なし

1日平均来館者数：55人

サードプレイスの概要



"ユタラボ"ってこんな場所 |

ユタラボは自学自習・コワーキングスペース、地域や人の情報の案内所、多世代交流、カフェとして、利用可能な地域交流スペースです。どなたでもご利用いただけますので、気軽にお立ち寄りください。



ユタラボで"できること"



あそぶ

テレビゲーム・マンガ・本・
ボードゲーム・各種イベント



集中する

勉強・作業・ミーティング・
仕事（コワーキング）



くつろぐ

コーヒー・ソフトドリンク・
クッキー・パフェ



見つける

地域の情報
（ひと・イベント・ボランティア）

サードプレイスの概要 (実施イベントの抜粋)



HUMI屋

商業からきたばっか大学生。
Re:ゼロから始めるHUMI屋の「女子料理」
～ゼロから「益田」を知るのを
手伝ってもらいませんか?～

4/21(金)
18:00～19:30
場所: ユタラボ(幸町8-18)
参加費: 500円(先着5名)

「大学生の話を聞いてみたい」
「変わった鍋が食べたい」
「気になった方は
ぜひお申し込みください」

←申込はこちらから

YUTALAB HALLOWEEN DAY

10/28(土)

ユタラボお試し会も開催しています!
クイズにチャレンジして
全館正解を目指そう!

場所: ユタラボ
時間: 14:00～18:00

仮装してスタッフ
と写真を撮ると
お菓子がもらえる!

ユタラボ summer DAY!!!

8.11(金)
16:00～

ユタラボお菓子水
1杯100円!!

ユタラボお菓子水
3杯100円!!

きてみんちゃい! ユタラボ

～高校生ユタラボ歓迎会～

春から新しい生活を迎えた高校生のみなさん。
新しい学校、新しいクラスで
どうやって友達を作ろう...?
部活や放課後どうしよう...?
と思ってる人!

学校外での楽しみ方を見つけてみませんか?

▼場所: ユタラボ
▼参加費: 無料
▼対象: 今年進学・進級した高校生
▼開催: 4.22(土)
第一弾 13:00～13:45
第二弾 14:00～14:45
フリータイム 15:00～

▼コンテンツ
①ユタラボツアー
②ゲーム大会
③???

高校生が取材!? テレビ番組づくりを体験しよう!

日時 5月20日(土)
14:00-15:30
場所 ユタラボ(幸町8-18)
対象 益田市内の学校に通う中高生

QRコードよりお申し込みください。

ユタラボ アップデート!!

11/23

ユタラボ
文藝室

自学自習スペース強化!

yutalab Christmas

12月23日(土)

場所: ユタラボ(幸町8-18)

・プレゼント交換・
・クリスマス限定メニュー・
「ミニカステラ」
・ミニ企画・
みんなでツリーを完成させよう!

食欲の秋 DAY

10月19日(木)
16:00～

場所: ユタラボ(幸町8-18)

ユタラボ体験会も開催しています!
しよくよく あき

作って食べて
みんなで楽しく楽しもう!
かぼちゃのカップケーキを
一緒に作ってくださる方
大募集!!!

ユタラボ YUTALAB-MARUCHE

VOL.3
@ 連理松センター

2023
7.2 14:00～16:00

場所: 連理松センター
益田市幸町8-18

第五回 ユタラボ決定戦

5/19(金)
18:30 19:30
20:15

場所: ユタラボ(幸町8-18)

第14回 スマブラ ユタラボ杯

1/20(土)
15:00-16:00

場所: ユタラボ(幸町8-18)

3連勝中のチャンピオンに
挑戦できるかも...?

Special Cafe Day!

2024.2.24(土)
15:00-17:00

場所: ユタラボ

「いとお菓子」開催!

ユタラボ 勉強 WEEEEK

11/23(木)24(金)30(木)
放課後～20:00

場所: ユタラボ(幸町8-18)

ユタラボお茶会

7.22(土) 14:00～

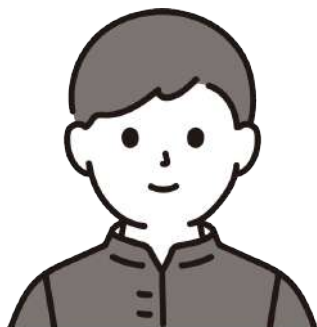
一杯: 100円

場所: ユタラボ(幸町8-18)

ユタラボ 七夕 DAY

7月7日(金)

会場: ユタラボ
時間: 18:00 ▶ 20:00



10代 男子高校生

日々の「なんとなく」が「やってみてもいいかも」に。

私は最初、部活の友達に連れられて来ました。勉強をしようと来てみましたが、いつの間にか他の高校生や社会人の方と話していて驚きでいっぱいでした。もともと自分から話しかけることは得意ではなく、学校でも受け身でいることが多かったのですが、ユタラボの人をきっかけに多様な価値観を持った人と話す中で「自分で思ったことを少しずつでも話してみてもいいかも」と思うことになりました。

また、地域行事のお手伝いに誘われた時に地域の方々にとっても良くしてくださったり、心から楽しんでいる姿を見て、もっと地域について知りたい・勉強してみたいと思い、進みたい進路を「やってみてもいいかも」と思えるようになりました。

私が心地いい居場所から、みんなが心地いい居場所に

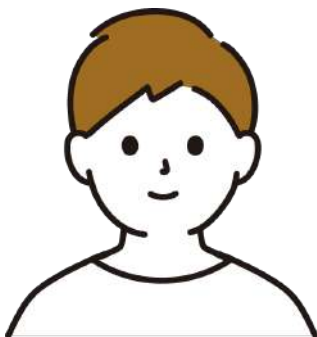
一年前にアメリカから益田に移住してきてから一年間、人との関わりが少なく、様々な人と関わるができる場所がほしいと思っていた時に勤務していた学校の先生に勧められて、自宅も近かったので行ってみることにしました。最初は緊張して話すことに躊躇していましたが、ユタラボのスタッフをきっかけにその場にいる人たちが皆暖かく接してくれてとても安心して居ることができました。

その一方で、私とは逆に「英語を使って話せる機会が少ない」と話している人がいて、少しでも力になれないかと思っていました。ある時、島根で働いている他のALTをユタラボに呼んで利用するときに、「こんな機会なかなか無くてとても嬉しい！」と話してくれたことがとても嬉しくて、私だけじゃなく、みんなにとって素敵な場所を一緒につくっていると思いました。



20代 社会人女性

10代 社会人男性



卒業してもっと益田がおもしろくなった。

高校生の時に小学校カタリ場がきっかけで来るようになりました。最初に来た時、賑やかで他の高校の生徒から気軽に声をかけられることがとても新鮮で「学校は違えど、話してみたら他の高校同士でも仲良くなれるんだあ」という印象でした。

これまでは同じ高校の友達とでしか関わりがなかったけど、ここでは「友達だけ」での関わりだけじゃない交流が生まれることが、楽しいし何度も行きたいと思えました。

卒業後、勉強で忙しかった毎日とは一変、時間を自由に使えるからこそどう使うのか困っていました。そんな時にユタラボの人から誘われた地域のお祭りや行事に参加する中で「益田にこんな面白い人居るんだ」と思う瞬間が多く、卒業後より益田への見方が変わった気がしました。



<成果> “居場所利用”を目的とした来館者の増加

昨年度までの課題として、高校生にとって、本サードプレイスは地域活動や探究活動の相談場所としての認知が強く、気軽に行きづらいと言う声があった。

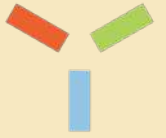
そこで、本年は、より気軽に利用できるように、地域活動促進イベントとは別に、ゲーム大会などの定例イベントを開催したり、自学自習機能を強化するために文華堂さんとコラボした「文房具ブース」を設置したりと、最初から地域で活躍したい人向けではなく、まずは居場所として利用したい人向けの戦略を立てて、活動してきた。

その結果、「気軽に立ち寄れる居場所」として、認知が広がり、新規利用者が多く増えた。

<来年度に向けて> “居場所利用者”を、どうチャレンジする主体者へ育成していくか。

前述した通り、今年度はより多くの高校生等の利用を増やすために、居場所利用を主目的とした来館者の掘り起こしに成功した。来年度は、この居場所として利用している高校生等に対して、本サードプレイスだけではなく、地域の中にある多様な居場所と活躍機会を知ってもらい、繋いでいくことができるかが重点目標と考えている。

そのため、来年度は本サードプレイス内で行われるイベントに限らず、地域の中で行われる活動等への接続など、サードプレイス外で行うイベントの企画・立案を行っていきたいと考えている。



サードプレイス 益田拠点の月次報告書

(来館者数と館内の様子)

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 4月分)



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	17	6	1	5	0	29
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	68	13	3	84		
その他	小学生	中学生	専門・大学	市外	小計	合計
	1	5	4		10	123
新規来館者	12					

- ・前年度から継続的に地域活動の相談などで来館している益田高校・益田東高校の生徒の人数が多い
- ・サードプレイスから距離が遠いにも関わらず、翔陽高校の生徒がふらっと来館したり、勉強したりする傾向が見られた



地元で企画をするための企画書の内容について、地域の方々やユタラボスタッフに相談をしている様子
→様々な大人に相談する中で「多角的な視点」を得られた様子だった



テスト勉強のためにサードプレイスを利用している高校生たちの様子
→普段は勉強のみだが、この後息抜きに地域の大人と一緒にボードゲームをする様子が見られた



島根県立大学の学生が、サードプレイスでの企画に参加後、今後自分たちのサークルで行うワークショップの試行をしている様子
→大学生だけではなく益田の高校生も巻き込む目的もあり今後の企画のヒントになった様子だった

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 5月分)



【利用状況】

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	13	10	3	6	0	32
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	65	7	4	76		
その他	小学生	中学生	専門・大学	市外	小計	合計
	0	47	34		81	189
新規来館者	14					

・特徴としては、来館した高校生が「探究の相談」「勉強」などの目的を越え地域の大人や大学生と関わる様子が見受けられた。

・テスト期間と開館日が重なる時には、「勉強」を目的に来館する益田高校・翔陽高校の生徒が多い傾向であった。



サードプレイス開館時に知り合った地域の大人と翔陽高校の生徒が、帰り際にも関わらず、共通の趣味から話が盛り上がっている様子
→高校生だけでは生まれなかったきっかけが地域の大人もいる場所によって生まれた



普段、自分から積極的に関わることの少ない翔陽高校の生徒が、地域の大人と何度も顔を合わせることでスタッフの助力なしでも自分からゲームに参加しようとしていた
→きっかけは些細な挨拶から、回数を重ねることによって徐々に関係性が育まれていった



島根県立大学の学生が司会として参加したミニ企画に、昨年度高校生として利用していた西部高等技術校の学生と一緒に参加している様子
→益田の高校を卒業後も継続的にサードプレイスを利用する機会を市外県外の大学生との企画を通して創出している

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 6月分)



【利用状況】

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	21	7	1	0	0	29
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	60	13	11	84		
その他	小学生	中学生	専門・大学	市外	小計	合計
	7	8	8	8	23	136
新規来館者	19					

・テスト期間と重なる日の開館時間を早めたことにより、勉強を目的に来館する益田高校・翔陽高校の生徒が普段より多い傾向だった。

・来館者数自体に変化はあまり見られないが、高校生と30代以下の社会人との関わりが多く見られ、将来の相談から趣味の共有など、多様な話題で交流する場面が増えた。



昨年の探究の授業から継続的に活動している益田高校の生徒の打合せの様子を見て、益田高校の別の生徒が触発され「自分もチームできることをしたい」と地域活動の相談をしている様子
→高校生同士で影響し合える場になってきている



カタリ場の授業後に来た中西中3年生と、益田高校の生徒、地域の大人と一緒にゲームをしたり、交流をしたりしている様子
→中高生にとって、この場所に来れば様々な学校・業種の人と交流ができるという認知ができてきている



地域の大人と一緒に、使ったことのないカメラで試行錯誤しながら撮影している様子
→「やったことがないからやらない」ではなく、「試しにやってみる」というきっかけを職員が創出することによって、その一歩を地域の大人も一緒に歩んでくれる空間となってきた

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 7月分)



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	12	8	5	8	9	42
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	80	23	10	113		
その他	小学生	中学生	専門・大学	市外	小計	合計
	9	17	19	19	45	200
新規来館者	36	開館日数	10			

- ・6月に実施された益田版カタリ場の授業をきっかけに、授業を受けた中学生の来館が増え、来館者数が増加。来館時には、高校生と交流している姿が見られた。
- ・探究活動や地域活動の相談のため、益田市外からも来館があった。



中学生から夏休みに実施するお化け屋敷企画の協力者を探したいと相談があった。写真は、スタッフのサポートのもと、同時時間帯に来館していた高校生や地域住民に協力の依頼をしている様子。



益田版カタリ場の授業後に、授業に参加した生徒と大人がボードゲームを通して交流をしている様子。カタリ場の授業などを通してもっと地域の大人と話したいと感じた生徒が、さらに関わりを広めるきっかけの場所として、サードプレイスが機能していると考えられる。



県立津和野高校のグローバルラボ部の生徒から「益田・鹿足地域の高校生の交流ができる企画をしたい」という相談を受けている様子。生徒は地域を越えて高校生同士で連携を取る難しさに課題を感じていることから、サードプレイスをハブとする構想について提案があった。

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 8月分)



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	27	19	5	13	0	64
地域の大人	10代・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	51	37	16	5	109	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計	合計	
	15	13	55	83	256	
新規来館者	19	市外	55	開館日数	12	

今月は、長期休暇を利用した県外の大学生の来館者数が増加した。その際、

高校生から進路の相談に乗る様子も多く見られ、多世代交流が活発に行われた。また、進路相談に限らず、益田市に帰省している地域の大人や高校の卒業生に会うことを目的に来館した高校生も見られた。



来館した高校生から島根大学への総合型選抜について進路相談があった。写真は、スタッフが相談に乗った後、同時時間帯に来館していた昨年度の島根大学の総合型選抜合格者が受験の体験談を話している様子。



カフェの新メニューの試作を益田東高校の生徒と明誠高校の生徒が手伝っている様子。別日に「お菓子作りが好き」と話していたことから、職員がコーディネートして今回の活動のきっかけとなった。



ボードゲームが得意な大人が、小学生から高校生、大学生、地域の大人も巻き込んでゲームを実施している様子。職員のアシストのもと、非常に暖かい雰囲気では進行して、全国各地から来た大学生の話が飛び交う空間となった。

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 9月分)



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	13	14	12	6	1	46
地域の大人	10代・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	43	36	22	4	105	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計	合計	
	12	16	42	70	221	
新規来館者	16	市外	87	開館日数	13	

今月は夏休みが明け学校が再開したことから、先月より高校生の来館者数がやや減少した。その一方でまだ夏休み中で遠方より益田に足を運んだ大学生が多く来館した。そのため、今月、複数来館していた生徒の中には、多世代でのコミュニケーションへの抵抗感が減ってきている場面も多く見受けられた。



益田版カタリ場の授業にてサードプレイスの紹介を行ったことがきっかけで、翔陽高校の生徒がカタリ場の翌日来館した。その際、同日来館していた益田東高校、明誠高校の生徒との間を職員がコーディネートしたことにより、学校を超えた交流が生まれていた。



東京から来館した高校生と益田東高校の生徒、専門学生が交流している様子。

「益田になぜ来たのか」や「これから、どのような自分でありたいか」など、普段話す趣味・嗜好だけではなく、自分と向き合う話題も生まれていた。



鳥取大学に在籍している学生が来館して、中学生や高校生と交流している様子。中学生や高校生が、キャンパスライフについて質問する様子が見られた。

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 10~12月分)



[10月 益田拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	6	34	6	7	2	55
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	33	22	11	5	71	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	12	23	45	80		206
新規来館者	27	開館日数	12	市外	市内	
				48	158	

[11月 益田拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	28	8	20	0	1	57
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	71	26	15	1	113	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	30	17	8	55		225
新規来館者	48	開館日数	12	市外	市内	
				10	215	

[12月 益田拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	7	11	20	5	5	48
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	51	27	15	1	94	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	21	8	16	45		187
新規来館者	14	開館日数	10	市外	市内	
				20	167	



サードプレイス開館時の館内の様子



① 初来館の高校生と 小学生が交流している様子

益田版カタリ場をきっかけに初めて来館した益田翔陽高校の生徒が、小学生と一緒にゲームをしている様子。高校生から小学生に積極的に声をかけたり、操作方法を教えていたりするなど、来館者同士の交流が行われていた。



② 高校生と若手社会人が 交流している様子

来館2回目の明誠高校の生徒と常連利用者の若手社会人に対して、ユタラボスタッフが声をかけて、一緒にボードゲームを楽しんでいる様子。来館回数が少ない利用者に対しては、このようにスタッフが積極的に声をかけて、他の利用者との繋がりを創出している。



③ 高校生が大学生スタッフと お菓子を作っている様子

常連となりつつある明誠高校の生徒がお菓子づくりに興味があることを聞いて、大学生スタッフが「一緒にハロウィンイベント用のお菓子を作らないか」と声をかけて、実際にお菓子をつくっている様子。館内のキッチンには、シェアキッチンとして提供しており、来館者による活動の選択肢を拡げている。



サードプレイス開館時の館内の様子



① 高校生が勉強スペースにて勉強している様子

11/23(木・祝)、市内3高から10名の来館があった。近隣に位置する益田高校のみならず、市内全高校から高校生が集う場となったのは、2階をアップデートして学習がしやすい環境を整えるとともに、対する1階を交流スペースに位置づけ、棲み分けを図ることで過ごしやすさが増した結果だと考えられる。学校を超えた学び合いが発生していた。



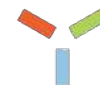
② 中学生が若手社会人等と交流している様子

中西中学校の生徒たちが、平日にも来館するようになった。当該生徒たちの来館は、校区からの距離もあり、これまではイベント時のみだった。月に1~2回程度、イベントの時間帯にだけ顔を出すにとどまっていた彼ら彼女らが平日に学習道具を持って来館し、学習の合間には他の来館者に自ら話しかける姿がみられるようになったことは、ユタラボがサードプレイスとして、また、新たなつながりを生む場として、居心地の良い場所になっていることの裏付けとも言え、今後の展開に期待が出来る。



③ 小学生から親子連れまで多世代で交流している様子

小学生から高校生・家族連れまで、来館者の層が厚みを増し、そのなかでの交流も見られるようになった。当月初めて来館されたという家族連れは、食文化ツーリズム企画を契機にユタラボを知ったという。当企画は温泉による地域活性化の推進機構が主催するもので、商店街チームとして出店していたユタラボ職員との対話から興味を抱いたとのことである。職員がイベント協力をしたことで、新たな来館者が増え、結果、ユタラボを訪れる高校生にとってロールモデルとなる大人の幅が広がってきたといえる。



サードプレイス開館時の館内の様子



① 高校生がマイプロの発表に向けて スタッフに相談している様子

普段カフェやゲームを楽しみにユタラボを利用していた益田高校の生徒が、高校生マイプロジェクトアワードにエントリーしたいと相談する出来事があった。サードプレイスとして過ごすうちに、地域活動の拠点として高校生自らがユタラボを選んだ点を評価したい。居心地のいい場であると同時に、他の利用者の挑戦や伴走スタッフの姿をも感じさせる場作りができたことの成果といえる。



② 高校生と若手社会人が 交流している様子

サードプレイスとして開館している際に訪れた高校生や大人たちが、主体的に交流する姿が見られた。これまで来館者たちは、思い思いの時間を過ごし、双方をつなぐ話題提供も主にスタッフが行っていたが、次第に親しさや安心感が芽生えてきたようで、互いに近況を尋ねたり、雑談をもちかけたりするようになった。



③ ハローライフの様子

益田市内外で活躍する大人の生き方に会う企画「ハローライフ」のvol.19及びvol.20を開催した。ユタラボ職員をスピーカーとしたが、それがかえって新鮮だったようで、参加した高校生からは「高校生に伝えたいことは？」という質問や「小さいことからでもやってみたい気持ちを大切に挑戦したい」との声が寄せられた。

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 1~3月分)



[1月 益田拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	21	12	27	8	0	68
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	34	5	9	3	51	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	13	10	9	32		151
新規来館者	18	開館日数	8	市外	市内	
				7	144	

[2月 益田拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	94	25	59	21	4	203
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	47	12	11	0	70	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	17	11	32	60		333
新規来館者	22	開館日数	12	市外	市内	
				25	308	

[3月 益田拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	33	14	21	7	3	78
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	31	8	3	0	42	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	18	14	31	63		183
新規来館者	9	開館日数	12	市外	市内	
				43	140	



サードプレイス開館時の館内の様子



① 高校生がキャリア相談をする様子

高校生が自らのキャリア観を深めようと活動している。かねてよりケーブルテレビひとまるビジョンで「高校生カケル」という番組を企画している生徒たちだったが、企画の中で大学生やＩターン者と対話してその価値観を感じられる機会を設けたいと考え、作戦会議をユタラボで行うようになった。進路選択の前に多様な生き方やキャリア観に触れたいと語っており、職員に相談しつつ試行錯誤している。



② 高校生が学校を越えて交流する様子

1月は高校生来館の多い月となった。人気イベント・ユタラボ杯の日に過去最高となる来館者37名を記録したが、その半数は中高生で、友だちやスタッフと交流をしたり、勉強に励んだりしていた。初めて来館をした高校生からは「思ったより気軽に使っていていいことが分かった」という声が寄せられた。自分たちから主体的に他校の生徒と交流しようとする姿も多く見られ、共通の話題で盛り上がっていた。



③ 明誠高校生がゲームを楽しむ様子

明誠高校1年生の来館が増大した。イベント紹介に詳述するが、ユタラボのサードプレイス機能を紹介する授業の効果が大きく、その結果、これまで来館をしたことがない高校生たちが、サードプレイスとしてユタラボを利用するようになった。高校生たちは当該授業でユタラボに関心を抱いたと語っており、ボードゲームで遊んだり、スタッフとの会話を楽しんだりする姿が見られた。



サードプレイス開館時の館内の様子



①カタリ場で結ばれた縁

大学生の姿に春からの新生活を思い描く高3生

2月は小学校カタリ場の語り手を担った高校生3年生が多く来館した。また、カタリ場経験者の大学生も帰省を機に訪れ、高校生と大学生がカタリ場の話題で盛り上がる姿が見られた。カタリ場の魅力や小学生の姿などを話すうちに、話題は自身のキャリア観や、自らの興味関心に移り、高校時代の探究テーマを発展させて今も学んでいるという大学生の姿に、高校生たちは春からの自分の生活を投影し、期待を膨らませているようだった。

② 国際交流を機に新しい一面を見せる高校生

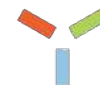
国際結婚をされた地域の方が来館されたことを機に、来館者や職員も交えて英語での会話に挑戦したり、海外の文化について話したりして楽しんだ。参加した高校生は、積極的に会話や交流を盛り上げており、普段とは違う一面に驚かされた。非日常的なことにその場の全員で挑戦するという体験が、一体感や安心感をもたらし、ありのままの自分の思いや姿を開示しながら会話できたようである。異文化交流の可能性を感じられる出来事であった。

③来館者に協力を求めて

企画をブラッシュアップする高校生

マイプロアワードに向けて、益田拠点で作戦会議を重ねてきた高校生たちが、提出動画を撮る際、来館者の協力を求め、活発な意見交換が行われた。高校生たちは、自ら職員や常連来館者の大人、そして中学生にも意見を求めていた。高校生の熱量に触れた中学3年生は、「これまでは遊ぶために来館していたけれど、こういうこともできるんだと感じた」と、興奮した様子で感想を口にしていた。

サードプレイスの月次報告 - 来館者数と館内の様子 (益田拠点 3月分)



サードプレイス開館時の館内の様子



① 旅立ちを前に、今後もつながるための一歩

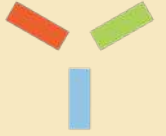
卒業を控えた生徒たちが益田拠点に集って交流を深める姿が見られた。小学校カタリ場をきっかけに学校を越えて仲良くなったメンバーで卒業前にまた会う機会を作ろうと、益田拠点を待ち合わせ場所にしたようである。他事業を契機に来館した生徒たちが、本拠点のサードプレイス機能に触れ、くつろいだり他校の生徒と交流したり、誰かとつながり続けるための場として認識した結果であろうと考える。

② カフェで流れる緩やかな交流タイム

益田高校や明誠高校の生徒が、益田拠点をカフェとして利用し、何気ない会話を楽しむ姿が見られた。ユタラボカフェは次第にメニューや企画の幅を広げ、時間をかけて交流を深めたい生徒やおしゃべりを楽しみたい生徒に好評を博している。来館者と新作メニューをともに考えるなど、「開かれたカフェ」を意識しながらカフェ機能の充実を図ってきた成果とも言える。

③ 取材を機にサードプレイスの価値を再発見

ひとまるビジョンの取材があり、来館者がインタビューに応じた。高校生が「他校の人と関わるきっかけが生まれる」「価値観が違う人と出会えるからこそ視野が広がる」と答える様子や、インタビューを受けていた来館者が、「体験した方がユタラボのことが分かるから」とインタビュアーをボードゲームに誘う様子が見られ、来館者にとってのサードプレイスの価値をあらためて感じる機会となった。



サードプレイス 益田拠点の月次報告書

(実施イベントの様子 - 抜粋)

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 4月分）



[イベント等 実施実績一覧]

日時	イベント名	参加者数	内容
4月7日(金)18:30～	スマブラ・ユタラボ杯	5人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会
4月14日(金)18:30～	ジャンプ王・ユタラボ決定戦	5人	「週刊少年ジャンプ」掲載のマンガに関するクイズ大会
4月21日(金)18:00～	humi屋	4人	今年度の大学生インターンと、食事をしながら交流
4月22日(土) ①13:00～ ②14:00～	来てみんちゃい！高校生ユタラボ歓迎会	5人	ユタラボを知らない高校生を主な対象に、使い方の紹介やボードゲーム体験、スタッフ・利用高校生との交流を実施

[イベント等 実施風景]



・ゲームなど、探究活動よりもハードルの低い企画を継続して行うことにより、そもそもの利用者を増やすことを目的に実施。

・第三回目の実施以降、各大会のチャンピオンが司会または大会の形式を考案するなど、より主体的に参加している傾向が見られる

・今後はゲーム以外にも幅広いジャンルにおいて、利用者から主体者となる機会を創出していきたいと考える

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 4月分）



[イベント等 実施風景]



・前年度の大学生インターンの「好きなことを持っている人に出会いたい」という提案から生まれた企画

・当初は身近な地域の大人が多かったが、三回目以降は高校生や大学生の参加も増え、優勝賞品を大学生が準備してくれたり、問題を考え出題者として前に立って司会をしたりと、主体的に関わるが増えている

・今後はより高校生を巻き込むためのイベントとして大学生が企画し、より主体的に関わる人を増やす予定



サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 4月分）



[イベント等 実施風景]



・スタッフはもちろん、利用者同士のつながりができるよう、ユタラボを利用している高校生や社会人にも協力してもらい、ゲームなどで一緒に交流してもらった

・この日初めてユタラボに来た高校生は1名のみだったが、既に利用したことのある新1年生も参加してくれ、1年生同士で交流することができた

・このイベントに参加してくれた高校1年生は、その後も定期的にサードプレイスに来てくれている



サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 5月分）



【イベント等 実施実績・風景】

日時	イベント名	参加者数	内容
5月11日(木)・12日(金)	勉強Week!	3	試験期間に伴い、高校生の勉強場所としてスペースを解放
5月13日(土)15:00～	スマブラ・ユタラボ杯	6	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会
5月19日(金)18:00～	ジャンプ王・ユタラボ決定戦	5	「週刊少年ジャンプ」掲載のマンガに関するクイズ大会
5月20日(土)14:00～	テレビ番組づくりを体験してみよう!	2	高校生が中心に制作するテレビ番組「高校生カケル」の取材体験と新規メンバーの募集 ※ロールモデル接続事業
5月26日(金)18:30～	Hello! Life! Vol.18	7	ユタラボ今年度インターン生をゲストに、益田に来たきっかけや東京での学び、大学生活などについて紹介

【イベント等 実施風景】



・2,3年生を中心に、定期的に勉強目的で来館する高校生もいれば、探究活動がきっかけで勉強場所として利用している高校生もいる

・利用する高校生の声としては「勉強するだけではなく、息抜きも気軽にできるのでこれからも継続して利用したい」などがある

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 5月分）



【イベント等 実施風景】



- ・4月に引き続いて行われたゲーム大会では、前回のチャンピオンの高校生が参画したこともあり、後輩を連れてきて、一緒に大会に参加したり、自分から場の盛り上げ役として積極的にコミュニケーションをとっていた
- ・島根県立大学の学生が参画したクイズ大会では、昨年度まで小学校カトリ場などで利用していた高校生が卒業後初めて来館し、市外の大学生との交流で「これまでと違った関わりができて楽しい」という声があった



サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 5月分）



【イベント等 実施風景】



・番組作り体験会には、翔陽高校の生徒が参加した。番組作りの裏側を体験する中で「楽しさ・大変さ」を感じている様子があり、今後も番組作成に関わる旨を体験会内で話していた。 ※ロールモデル接続事業の一環で実施

・山形出身の大学生インターンの話を聞きに、高校生から地域の大人、山形出身の市役所職員など多様な世代の方が参加した。大学生の話を聞くだけでなく互いに交流する会となり、今後、もっと各地方の特色を紹介する会を企画したいなどの意見が出た。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 6月分）



【イベント等 実施実績】

日時	イベント名	参加者数	内容
6月17日(土)15:00～	スマブラ・ユタラボ杯	6	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会
6月22日(土)・ 23日(日)・29日(土)	勉強Week！	12 ※3日間計	試験期間に伴い、高校生の勉強場所としてスペースを解放

【イベント等 実施風景】



- ・今回の「ユタラボ杯」は、カタリ場授業後の中西中3年生が来館して飛び入り参加した。そのことにより、ゲームの好き嫌いに関係なく、みんなで楽しむ企画となった。
- ・結果、その中西中の生徒が優勝し、今後も来館する目的のひとつになった。
- ・中西中の生徒はゲーム後、2階にて勉強を行うなど、集中スペースとの棲み分けがあることによって利用の幅が広がっている様子だった。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 6月分）



【イベント等 実施風景】



- ・ 益田市内の高校ごとにテスト期間が違うことを考慮し、今回からそれぞれに合わせる形で、二週に分けて「勉強Week」を実施した。
- ・ それにより、一週目は益田高校の生徒、二週目は翔陽高校の生徒が利用し、ニーズにあった企画となった。
- ・ カタリ場実施後、定期的に来館のある中西中の生徒と益田高校の生徒が勉強の合間に交流する姿も見られ、少し先の先輩の姿を見ることができる空間となっていた。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 7月分）



[イベント等 実施実績一覧]

日時	イベント名	参加者数	内容
7月7日(金)18:00～	ユタラボ七夕DAY	33人	七夕にちなんだ短冊作りや期間限定メニューを提供
7月15日(土)15:00～	スマブラ ユタラボ杯	12人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会
7月29日(土)18:00～	たむそ屋晩ごはん	8人	地域の料理が趣味な若手社会人と、食事をしながら交流

[イベント等 実施風景]



- ・今回のゲーム大会イベントは、前回と同様にカタリ場の授業をきっかけに
来館した中西中の生徒だけではなく、
7月に実施した益田東中カタリ場に参加した
生徒や昨年度の小学校カタリ場に参加した
学生、石見高等看護学校の学生、
親子連れなど、非常に幅広い層を
巻き込んだイベントとなった。
- ・毎イベント後は次回への意気込みや
ゲーム以外の話題に発展する様子も見られ、
このイベントが多世代で交流する
きっかけとなってきた。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 7月分）



【イベント等 実施風景】



・益田東中学校で実施した益田版カタリ場で、もっと地域の大人と話してみたいと思った生徒が関わりを広めるイベントとして「ユタラボ七夕DAY」を実施した。授業に参加した地域の大人や、日頃からサードプレイスを利用している地域の大人と、かき氷を食べたり短冊を書いたりしながら交流を行なった。また、このイベントの参加者のうち多くが初めての来館であった。このことから、今回のイベントは交流のみにとどまったが、今後の地域活動の入り口となるイベントであったと考えられる。

・ご飯会イベントでは、偶然、参加者同士が高校時代の同級生であったことから会話が弾み、より参加者同士の結びつきが強くなる時間となった。



サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 8月分）



[イベント等 実施実績一覧]

日時	イベント名	参加者数	内容
8月11日(金)16:00～	ユタラボ summer DAY	11人	夏にちなんだ射的やすいかを提供
8月19日(土)15:00～	スマブラ ユタラボ杯	10人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会
8月25日(金)18:30～	たむそ屋晩ごはん	8人	地域の料理が趣味な若手社会人と、食事をしながら交流

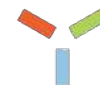
[イベント等 実施風景]



今回のゲーム大会イベントは、2回目の参加となった参加者が多く、本イベントをが複数回の来館に繋がっていると推測される。

また、今月は「次も参加したい」「リベンジしたい」と思えることをテーマに、実施した。そのため、イベント終了後も、職員の声かけにより、優勝者が他の参加者に使用方法を教えたり、一緒に練習したりと、学び合いの時間が生まれていた。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 8月分）



[イベント等 実施風景]



・夏休みの高校生に向けて、帰省する大学生との関わりの広めるためのイベントとして「ユタラボsummer DAY」を実施した。昨年・一昨年まで、サードプレイスを利用していた高校生が大学生となり、現役の高校生と再会する様子が見られた。高校生にとっては、少し自分より未来を生きる先輩から大学生活の様子や学びなどを聞き、日常生活への意欲的になった様子が見られた。帰省をきっかけに来館する大学生が多いことから、サードプレイスが、高校卒業後も戻ってこられる居場所としての認知されてきていると考えられる。

・今月のご飯会イベントでは、1ターン者の若い世代での交流機会が少ないという共通の話題で会話が弾み、新規来館者も複数来館者と繋がりを作る時間となった。



サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 9月分）



[イベント等 実施実績一覧]

日時	イベント名	参加者数	内容
9月23日(土)15:00～	スマブラ ユタラボ杯	6人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会
9月28日(木)・29日(金) 13:00～20:00	勉強Week !	2人	試験期間に伴い、高校生の勉強場所としてスペースを解放

[イベント等 実施風景]



- ・今回のゲーム大会イベントは参加者自身がより楽しめる対戦形式を計画した上で実施した。そのため、ただ楽しむだけのイベントではなく、参加者同士で協働してイベントの計画を体験する場となった。
- ・毎ゲーム大会後には、優勝者となった参加者が他の参加者にゲームのコツを伝授する風土が醸成されてきている。そのため、サードプレイス内で、交流に苦手意識があった参加者も、優勝者となったことをきっかけに交流の輪に自然と混ざることができた。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 10月分）



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
10月14日(土)15:00～16:00	スマブラ ユタラボ杯	13人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会



本イベントは、毎月恒例の「スマブラ ユタラボ杯」（テレビゲーム大会）である。今回は、中学生、高校生、専門学生の合計13名が参加した。ほぼ全員が常連の参加者であった。今回で11回目の開催ということもあり、ユタラボスタッフが運営を引っ張らなくても、参加者が主体的に会を運営するイベントになっている。今回も、イベント自体は、とても盛り上がっていた。

今回特筆すべきことは、これまで本ゲーム大会にしかサードプレイスを利用していなかった中学生が、それ以外の活動にも参加したことである。これまでは、その中学生はゲーム大会が終わり次第すぐに帰っていたのだが、この日は大会終了後、館内でボードゲームをしていた社会人に声をかけられて、一緒にボードゲームをしていた。帰り際に、「ゲーム大会以外も参加してみたい」とスタッフに感想を話しており、その中学生にとって今後の活動の幅を拡げるきっかけになったのではないかと推測する。今後もゲーム大会以外の活動にも積極的に声をかけていきたい。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 10月分）



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
10月20日(金)18:30～20:00	社会人の晩飯屋「たむそ屋」	8人	料理が得意な若手社会人が夕食をつくり、若手社会人が食事をしながら交流する機会



「たむそ屋 ズボラめし」は、若手社会人同士の交流を目的とした、夕食会である。普段介護職で勤める20代の田村宗一郎さん(あだ名が「たむそ」)が、趣味の料理を活かして、益田市内で働く若い世代が交流する機会をつくりたいという目的から、隔月に1回程度開催されている。サードプレイスのシェアキッチンを提供して、ユタボスタッフが企画づくりや企画の周知で伴走しながら、運営を行っている。



10月は、少し寒くなってきたこともあり、鍋料理を通じて、交流会を行なった。益田市内の事業所で働く、20代の若手社会人を中心に、8名の参加があった。今回の特筆すべきことは、今月からサードプレイス利用者となった、ALTの女性の方が参加したことにより、多文化交流の機会となったことである。日本との文化の違いや益田での暮らしの良さなどが話題となっていた。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 10月分）



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
10月19日(木)17:30～	サードプレイスお試し会～食欲の秋DAY～	2人	益田版カタリ場後の接続事業として実施
10月28日(土)15:00～	サードプレイスお試し会～ハロウィンDAY～	0人	益田版カタリ場後の接続事業として実施



「サードプレイスお試し会」は、サードプレイスを利用したことがない人に対して、少しでも初めての来館のハードルが低く利用できるように、企画したイベントである。具体的には、スタッフ紹介、館内案内、スタッフとのゲーム体験会が行われている。

今回は、益田中学校で実施されたカタリ場(10月13日)において、授業の最後にまた大人と出会える場所として、サードプレイスのチラシと本イベントのチラシを配布して、周知を行なった。その結果、2名の来館があった。2名とも初来館者である。普段の体験会のコンテンツに加えて、今回は「食欲の秋」にちなんだお菓子作りやクイズラリーを行なった。参加者は、楽しみながら活動をしており、「今後も来館したい」と話をしていた。





イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
11月11日(土)15:00～16:00	スマブラ ユタラボ杯	10人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会



本イベントは、毎月恒例の「スマブラ ユタラボ杯」(テレビゲーム大会)である。今月は、中学生、高校生、専門学生の合計10名が参加した。特筆すべき点として、大会の主眼であるテレビゲーム大会の横で、ボードゲームが開催されたことがある。これは常連来館者が周囲に呼びかけて始めたもので、「ユタラボ杯」で敗退した参加者や、見学者、ふらりと訪れた来館者等がゲームを楽しみ交流する場として盛り上がりを見せた。なかでも、たまたま来館した益田小学校の児童たちがボードゲームを介して大人と交流を深めたことが印象深い。小学生にとって、年長者が熱い盛り上がりを見せる本戦は、ややハードルが高く感じられたようである。興味深そうに眺めるばかりの姿に目をとめた大人たちが、ボードゲームコーナーへと呼び込んだことで、小学生も自分のペースでゲームや交流を楽しむことができたという。来館者が主体的に楽しんでいる姿がほかの来館者の参画を促す好事例となった。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
11月17日(金)18:30～20:00	社会人の晩飯屋「たむそ屋 ズボラめし」	4人	料理が得意な若手社会人が夕食をつくり、若手社会人が食事をしながら交流する機会



「たむそ屋 ズボラめし」は、益田市内で働く若手社会人同士の交流を目的とした、夕食会である。介護職に就いている20代の田村宗一郎さんが得意とする料理で腕をふるうことから、愛称を冠して「たむそ屋」とし、隔月に1回程度開催されている。自炊のヒントにつながったり、1人分の料理を作る煩雑さから解放されたりする点についても、新社会人の参加者からは喜びの声が寄せられている。サードプレイスのシェアキッチンを提供して、ユタラボスタッフが企画づくりや企画の周知で伴走しながら、運営を行っている。

11月は、参加者4名と、やや小規模の開催となったが、仕事上の悩みを相談したり、将来の展望を話したりするなどして盛り上がりを見せた。田村さんの料理をもっと知ってほしいという参加者の思いもあり、カフェ風にするならどうするか、もっと大量に提供するにはどのような手立てが有効か、など、付箋を使いながらブレインストーミングをする場面もあり、より互いの内面に迫った話題が中心となった点が印象的であった。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 11月分）



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
11月23日(木)	2階アップデート	10人	益田の文房具店「文華堂」とのコラボレーション企画として目にも楽しい文房具コーナーを設置



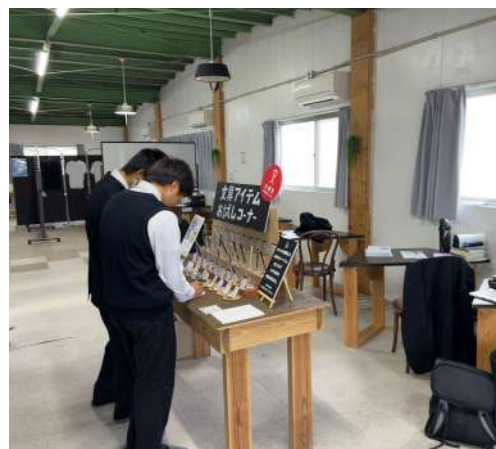
11/23(木・祝) より2階の自学自習スペースをアップデートした。多様な学習スタイルに対応できるよう机と椅子の配置を見直し、学習意欲向上のため入り口には益田の文房具店「文華堂」とのコラボレーション企画として目にも楽しい文房具コーナーを設置した。学習がはかどる環境は十人十色であり、自分に合った学び方を見つける場、自らカスタマイズできる場としてユタラボを活用してほしいという思いから、1人で集中できるコーナーと、机を組み合わせさせてグループ学習できるコーナーを設営した。学習の合間にリラックスできる場として読書コーナーや、地域情報コーナーも設け、空間の使い方・時間の使い方の両面において、高校生が自ら工夫して学習効率の向上を図れるようにした点が最大の特長である。また、「文華堂」の協力により、2階入り口付近には約30種類の文房具を陳列、自由に試すことができるコーナーとなっている。好きな文具と出会い、より学習時間を楽しめる生徒が増えることを期待したい。アップデート後の自学自習スペースを訪れた生徒たちからは「また試験期間以外にも来てみたい」という声が寄せられた。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 11月分）

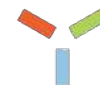


イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
11月23.24.30日	勉強WEEEEK	35人	勉強強化期間



11/23(木・祝)、24(金)、30(木)の3日間にわたり、「勉強WEEEEK」として、勉強強化期間を設けた。これまで学習のためのユタラボ利用は少数であったが、市内に学習場所が少ないという声も聞かれていた。そこで、2階アップデート初日を含む3日間、勉強に特化した環境設定をし、近隣高校への呼びかけを行った。当該期間は近隣高校の試験期間である。試験日は原則午前で放課となることから、「勉強WEEEEK」中は、開館時間を平常時の16時から13時に繰り上げ、「勉強の利用に限ります」と周知した。チラシ配布も効果的だったようで、期間中は過去最多である35名の高校生が来館した。このうち24名は益田高校の生徒であったが、そのほとんどが初めての来館である。ニーズに応じた企画の立案や、積極的な広報活動が功を奏したと評価したい。一人で黙々と学ぶ姿や、学校や学年を超えて学び合う姿が多く見られた。文華堂とコラボした文房具コーナーに目を輝かせる生徒や息抜きスペースを活用しメリハリをつけて学習に臨む生徒もあり、サードプレイスとしてのユタラボならではの学びの場を提供できたのではないかと考える。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
12月2日(土)	スマブラ ユタラボ杯	6人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会



本イベントは、毎月恒例の「スマブラ ユタラボ杯」(テレビゲーム大会)である。今回は、中学生、高校生、専門学生の合計6名が参加した。今回は初めての来館者が多かったことが特徴的だったが、これまでの参加者が周囲に対して行ったイベント周知や参加の呼びかけによるところが大きい。当日は、本大会で殿堂入りしている常連参加者が、自ら誘い込んだ初来館者たちにゲームの手ほどきをする姿も見られた。そのため、当初「見学だけでいいです」と言っていた層も、練習を経て大会にエントリーし、楽しむことができたようである。これまで継続して本大会に参加し、楽しんできた来館者の中に、イベントをより面白くするため友だちを呼び込んだり、ゲームの特訓をほどこそうとしたりする姿が見られたことは、特筆すべき点である。前述の常連参加者は、「初めて参加する人たちにもっと楽しんでもほしい」と、大会後も生き生きと、ゲームに勝つためのコツなどを、他の参加者に伝授していた。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
12月9日(土)	社会人の晩飯屋「たむそ屋」	5人	料理が得意な若手社会人が夕食をつくり、若手社会人が食事をしながら交流する機会



「たむそ屋 ズボラめし」は、益田市内で働く若手社会人同士の交流を目的とした、夕食会である。介護職に就いている20代の田村宗一郎さんが得意とする料理で腕をふるうことから、愛称を冠して「たむそ屋」とし、隔月に1回程度開催されている。サードプレイスのシェアキッチンを提供して、ユタラボスタッフが企画づくりや企画の周知で伴走しながら、運営を行っている。

12月において特筆すべき点は、これまで常連だった参加者の呼びかけによって来館した新規参加者が多く、当日の話題提供もユタラボスタッフ中心ではなく、参加者からなされるものが多かったということである。なかでも、新規来館者を呼び込んだ常連利用者が話題提供をしようとする姿が多く見られた。また、田村さんが来年度に向けてアップデートしたメニューを検討したいと参加者に持ちかける場面もあり、参加者はそのメニューを楽しむために今後も本イベントに参加したいと笑顔を見せていた。





イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
12月23日(土)	ユタラボクリスマス会	22人	クリスマスにちなんだカフェメニューや企画を提供



12/23(土)、「ユタラボクリスマス会」を開催した。プレゼント交換のみ開始時間を決め、それ以外の企画についてはいつ来館しても参加できるようにしたため、当日は一日を通して様々な来館者がそれぞれの都合のいい時間に訪れて思い思いに楽しんでいた。特に注目すべきは、平素からの来館者が当日の企画に深く関わってくれたり、日頃の来館者の関係性から新たな企画が生まれたりしたことである。たとえば、願いごとを書いて飾れるクリスマスツリーを配置する予定だと知った来館者が、事前に折り紙を切り貼りし、願いを書く紙をオーナメント風に作成してくれた。また当日は、常連来館者が声をかけあい、小学生から社会人まで巻き込んだボードゲーム大会を突如開催する場面もあった。来館者の多くが主体的に参加してくれたクリスマス会となり、当日の各種企画に深く関わった来館者たちは、自分の企画したことが他の参加者の楽しい時間につながったという喜びも感じていたようである。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
	カレンダーのアップデート		



1月の予定分からユタラボカレンダーをアップデートし12月よりリリースした。これまでは、一般的なマンスリー型のカレンダーに開館日を記載していたが、開館する曜日は固定化されていることを踏まえて、開館時に何ができるのかと、イベントの日程及び概要を、それぞれ1枚にまとめ、視覚的に分かりやすく、来館したいという思いが高まるようにデザインを刷新した。開館時にできることをまとめた1枚では、「遊ぶ」「集中する」「くつろぐ」「見つける」と4つのキーワードを大きく掲げ、具体的にどのようなことができるのかを付記した。また、イベントに特化した1枚では、各種イベントについて、日時とイベント名、概要を画像とともに大きく掲載した。見え方を意識した作りにすることで、常連来館者に伝わりやすい情報発信となることはもちろん、新規の来館を促す発信としても効果を発することを期待したい。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
1月18日(木)	明誠高校生対象サードプレイス体験会	94人	カタリ場後のサードプレイス接続事業として実施



1月18日、明誠高校の1年生を対象に、カタリ場後接続事業として、実際にユタラボに来館し、ユタラボでの過ごし方を体感してもらった。本事業はカタリ場を実施した生徒たちを対象に、居場所づくりや、カタリ場で出会った大人たちと継続的につながるための契機を創出するために設けられたものである。事前に出前授業としてユタラボの概要を説明し、サードプレイスとしてどのような使い方ができるのかを、「遊ぶ」「集中する」「くつろぐ」「見つける」と端的なキーワードで紹介したのち、具体的な過ごし方を例示して伝えていた。そのため、高校生たちは、「授業で紹介のあったボードゲームどこですか」など、積極的に職員に話しかけ、ゲームや本などを実際に手に取って、ユタラボでの時間を楽しむことができたようである。後日、個人的に来館してサードプレイスを活用する高校生も多くいたことから、本事業は高校生の新規来館者増加に大きな影響を与えたと評価したい。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
1月19日(金)	社会人の晩飯屋「たむそ屋」	8人	料理が得意な若手社会人が夕食をつくり、若手社会人が食事をしながら交流する機会



「たむそ屋 ズボラめし」は、益田市内で働く若手社会人同士の交流を目的とした、夕食会である。介護職に就いている20代の田村宗一郎さんが得意とする料理で腕をふるうことから、愛称を冠して「たむそ屋」とし、隔月に1回程度開催されている。サードプレイスのシェアキッチンを提供して、ユタラボスタッフが企画づくりや企画の周知で伴走しながら、運営を行っている。

これまでは若手社会人に限定して参加者を集めていた本企画であるが、今月は若手社会人に加え、保護者同伴の高校生や、若い世代が家族連れで参加できるよう、裾野を広げて告知を行った。その結果、多世代の参加者で食事を囲んで対話をする時間が生まれ、常連参加者にとっても新鮮さのある回となったようである。家族で参加した方からは「家族以外の人と交えて大勢で食べると楽しい。」という声が寄せられ、常連参加者も「たむそやの美味しさを色々な人に知ってもらうのが嬉しい」と喜んでいた。





イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
2月3日(土)	スマブラ ユタラボ杯	8人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会

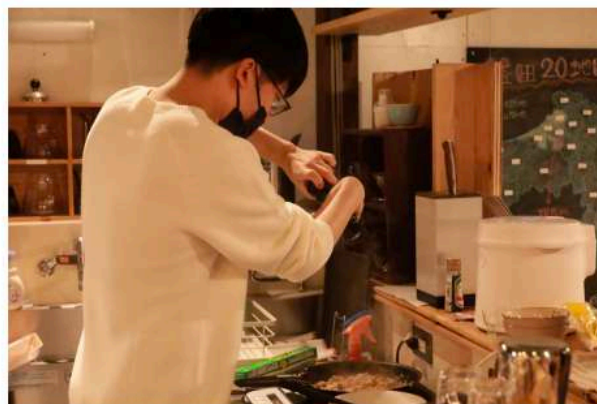


本イベントは、毎月恒例の「スマブラ ユタラボ杯」（テレビゲーム大会）である。今月は、中学生、高校生、専門学生の合計8名が参加した。先月は偶然にも歴代優勝者・上位入賞者が久々の参戦をしかつてないほどの盛り上がりを見せた本大会であったが、今月も同様に大人数での開催となり、また実力者揃いの上位争いとなって、白熱した試合となった。参加者・参観者の増加背景には、前回楽しく過ごせたことから友だちや弟を誘って来館した参加者がいたことがある。大会後、交流試合が自然発生していったことが今回特筆すべき点である。大会はトーナメント方式をとっているが、本戦では対戦することのなかった大人に、中学生から勝負を持ちかけ、大会後もゲームを楽しんでいた姿が印象的であった。これまで、大会後に残ってゲームをする来館者は知り合い同士で腕ならしをするにとどまっていた。それが世代を超えた交流に発展したのは、来館を重ねる中で顔なじみになっていたことに加え、益田拠点が安心して交流できる場づくりを重ねてきた成果であると評価したい。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
2月17日(土)	社会人の晩飯屋「たむそ屋」	5人	料理が得意な若手社会人が夕食をつくり、若手社会人が食事をしながら交流する機会



「たむそ屋 ズボラめし」は、益田市内で働く若手社会人同士の交流を目的とした、夕食会である。介護職に就いている20代の田村宗一郎さんが得意とする料理で腕をふるうことから、愛称を冠して「たむそ屋」とし、隔月に1回程度開催されている。サードプレイスのシェアキッチンを提供して、ユタラボスタッフが企画づくりや企画の周知で伴走しながら、運営を行っている。

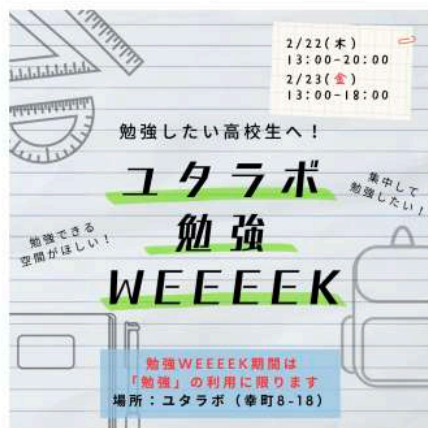
今月は参加者全てが20代前半ということで、同世代同士で話が弾んだ。大学生・若手社会人・専門学生と所属は様々であったが、共通の知人であるユタラボ職員を介して次第に話が盛り上がり、それぞれの生活や楽しみ、休日の過ごし方などについて意見交換をした。休日をより充実させたいという参加者の声に、ユタラボ職員から地域のお祭りの手伝いを提案する場面もあり、若い世代と地域活動をつなげる場にもなった食事会だった。田村さんは来年度の豊富として、本企画をアップデートし、定食屋に近いこともやってみたいと語っていた。





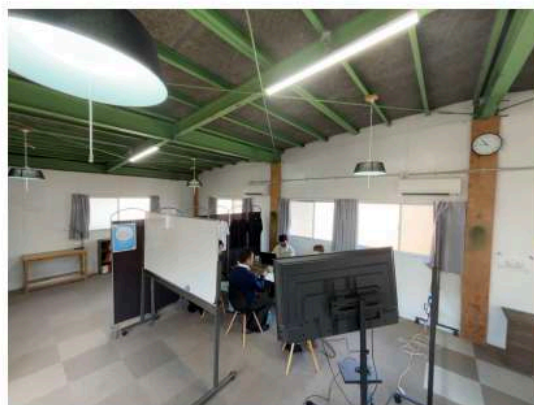
イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
2月22日23日	勉強WEEEEK！	6人	勉強強化期間



勉強WEEEEK！を2/22(木)～2/23(金)にかけて実施した。本企画は11月に初めて実施し過去最多の高校生来館者数を記録したイベントで、当該期間は開館時間を延長したり、学習利用に限るなどしたりする。3回目となる今回は高校1、2年生の試験期間中に重ねて実施した。

これまでは益田高校生の利用が主だったが、今回は日常的にサードプレイスとして利用していた明誠高校の生徒たちが、勉強WEEEEK！を活用しようと学習のため訪れたことが特筆すべき点である。過去回と同様に学校を越えてともに学んだり、「勉強を教えてほしいから」と他の生徒を誘い込んで来館したりする高校生の姿が多く見られた。多様な学び方を支援する場として、集中コーナーやグループ学習コーナーを設けているが、特にグループでの学び合いをしたい生徒たちが学習場所として益田拠点を選び取るようになってきた印象がある。図書館をはじめとする他の学習空間とは異なる価値を提供できていると評価したい。



サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（益田拠点 2月分）



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
2月24日(土)	Special Café Day !	20人	バレンタインデーにちなんだ カフェメニューや企画を提供



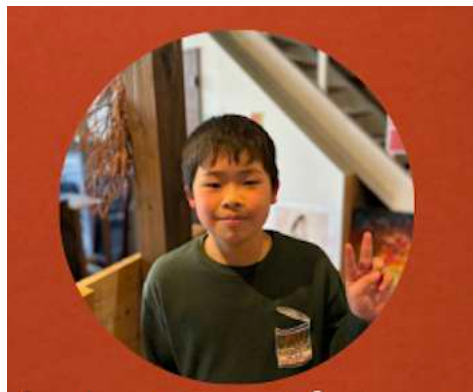
2/24（土）、ユタラボカフェでは「バレンタインSpecial Cafe Day」と称して、普段のカフェメニューに加え、オリジナルチーズケーキ等のスペシャルメニューを提供した。スペシャルメニューはお菓子作りを趣味とする匹見小・中学校の社会教育コーディネーター、東島今日香さんが手がけたものである。かつてサードプレイスとして益田拠点に来館した東島さんが、ユタラボ職員に大好きなお菓子作りへの思いを話したことがきっかけに実現した本イベントだったが、提供から1時間ほどで一部メニューは完売するなど大盛況であった。

事前準備でメニューを決めたり、当日の打ち合わせをしたりする中で、スペシャルメニューはサードプレイス来館者とともに決めたオリジナル名称で提供しようという話になったが、それが功を奏し、多くの方に親しまれるメニューとなった。名称を一緒に考えた来館者たちは、カフェ当日も訪れ、スペシャルデーの賑わいを東島さんとともに喜び合っていた。



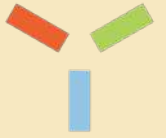
イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
3月16日(土)	スマブラ ユタラボ杯	9人	大人気テレビゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」の大会



本イベントは、毎月恒例の「スマブラ ユタラボ杯」（テレビゲーム大会）である。今月は、中学生、高校生、専門学生の合計9名が参加した。

参加者は普段と比べるとやや少なめとなった本大会であったが、これまで上位争いをしていた常連参加者たちの多くが不在であったため、ゲーム初心者の子がトーナメント戦まで参加できたことが特筆すべき点である。開催前にみんなで練習会をして交流を深めた参加者たちは、トーナメント戦でも互いに応援し合い、練習で身につけたテクニックを活かして勝利した子がいたときには、ともに喜び合う姿が見られた。勝利することや上位に入ること以上に、教え合った結果として新しいことができるようになるということを楽しんでいる様子の来館者たちは、ゲーム大会を通して、これまではあまり関わりの無かった人とも自然と関わり合い、ゲームの攻略法について情報交換をしたり実際にプレイしながら教え合ったりして仲を深めたようである。



サードプレイス 高津拠点の月次報告書

(来館者数と館内の様子)

サードプレイスの月次報告－来館者数と館内の様子（高津拠点 4月分）



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	0	4	1	0	1	6
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	46	26	116	188		
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	213	19	0	232		426



翔陽高校の生徒が地域の小中学生と
「ストラックアウト」を楽しんでいる様子



翔陽高校の生徒が、小学生と
新聞紙を使った遊びをしている様子

サードプレイスの月次報告－来館者数と館内の様子（高津拠点 5月分）



【利用状況】

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	0	0	2	0	0	2
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	59	41	64	164		
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	148	30	0	178		344



開館時に多様な世代でボールを使ったり、ブロックを使って遊んだり、それぞれで利用する様子



連理松センターの前の庭を利用し、BBQをしながら多様な世代と中高生が交流している様子

サードプレイスの月次報告 – 来館者数と館内の様子（高津拠点 6月分）



【利用状況】

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	0	6	1	2	1	10
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	66	14	106	186		
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	169	13	0	182		378



7月に行われるマルシェに出店するため、準備をしている翔陽高校の生徒たち

サードプレイスの月次報告 – 来館者数と館内の様子（高津拠点 7月分）



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	2	29	0	5	0	36
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	81	42	140	263		
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	283	38	0	321		620



翔陽高校の生徒が地域の小中学生に宿題や勉強を教えている様子。



翔陽高校の生徒が、地域の小学生が楽しく過ごせるように工夫をしながらともに一輪車やバドミントンに取り組む様子。

サードプレイスの月次報告－来館者数と館内の様子（高津拠点 8月分）



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	0	33	0	9	0	42
地域の大人	30代以下	40代	50代以上	小計		
	68	31	121	220		
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	285	13	0	298		574



翔陽高校の生徒が地域の小中学生に
楽しく過ごせるよう工夫しながら
カードゲームを教えている様子。



翔陽高校の生徒が、
地域の小学生とその児童の保護者を交えて
多世代でコミュニケーションを取っている様子。

サードプレイスの月次報告－来館者数と館内の様子（高津拠点 9月分）



[利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	0	18	0	2	0	20
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	19	44	14	96	173	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	244	9	0	253		446



翔陽高校の生徒が
古着回収ボランティアの活動の一環で
高津拠点を利用する様子



翔陽高校の生徒が定期考査の
勉強場所として利用する様子。

サードプレイスの月次報告－来館者数と館内の様子（高津拠点 10～12月分）



[10月 高津拠点の利用状況]

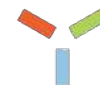
高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	7	34	0	2	9	52
地域の 大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	6	63	25	119	213	
その他	小学生	中学生	専門・ 大学	小計		合計
	340	53	0	393		

[11月 高津拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	1	40	0	0	13	54
地域の 大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	12	31	25	155	223	
その他	小学生	中学生	専門・ 大学	小計		合計
	193	36	0	229		

[12月 高津拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	0	64	0	1	20	85
地域の 大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	11	48	28	93	180	
その他	小学生	中学生	専門・ 大学	小計		合計
	356	50	0	406		



サードプレイス開館時の館内の様子



① 高校生と小学生が交流している様子

益田翔陽高校の生徒が、地域の小学生と交流している様子。普段から小学生が多く利用していることもあり、子どもが好きで、関わりを持ちたいと思っている高校生にとって、気軽に交流できる場となっている。ユタラボスタッフが常駐していることで、小学生と高校生の繋ぎや関わりにトラブルが発生しないように見守っている。



② 高校生が主体となった イベントの準備をしている様子

益田翔陽高校の生徒が、ハロウィンイベントの開催に向けて、飾り付けなどの準備をしている様子。高津拠点は、施設が広いこともあり、高校生による地域活動のイベント会場として使われることが多くある。



③ 小学生と高校生が、屋外で遊んでいる様子

高津拠点によく来館している小学生が、益田東高校の生徒に、話しかけている様子。小学生から高校生に声をかける様子もよく見られ、今回はたまたま出会った高校生と小学生が屋外で遊んでいた。高津拠点は、施設内だけでなく、屋外の庭も広いため、体を動かす遊びもよく行われている。



サードプレイス開館時の館内の様子



①ハロウィンパーティの片付けから 小学生と遊ぶ様子

11/1(水)、翔陽高校生が前日のハロウィンパーティーの片付けに来館し、その流れで訪れた小学生と遊ぶ姿が見られた。ハロウィンパーティーは家庭クラブの企画で、平日にもかかわらず仮装した小学生が80人も訪れるなど大盛況を博したが、その流れもあり、なんのイベントもない翌日にも自然な形で交流が深まっていたようである。

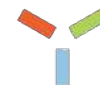
②コンサートの準備をしている様子

11/26(日)音楽ユニットenさんによる「あったか コンサート」が開催されたが、それに際して高津中学校2年生有志が会場設営等の準備に取り組んでくれた。中学生たちは「連理松センターを盛り上げたい」と日ごろからセンターによく足を運んでいる生徒たちである。色紙で会場を飾り付けたり、椅子の設営をしたりして、来場者にとって過ごしやすい場となるよう努める姿が印象的であった。

③ベビーサロンでの様子

※教育魅力化CN事業の一環で実施

11/30(木)赤ちゃんとお母さんの憩いの場であるベビーサロン「ぷらっとかふえ& ころん」が開催された。教育魅力化コーディネート事業の一環として、翔陽高校から保育選択者が十数人来館し、クリスマスソングの演奏や読み聞かせを行ったり、赤ちゃんとお母さんとの交流を深めるなどして過ごした。ベビーサロンを定期開催している実績や日ごろから多くの翔陽高校生が来館する場となっていることが、世代を超えた新たな交流をもたらしたといえる。



サードプレイス開館時の館内の様子



① 高校生と小学生が交流している様子

12/9（土）手作り積み木でビー玉転がしを行った。かねてから「木育」をテーマにした社会教育を考案してきた本拠点だが、本企画はそのおもちゃの試運転ともいえる時間となった。来館者は400個にも渡る様々なパーツを組み立て、思うようにビー玉が動くかを検証してはやり直そうとしており、様々なステップを通じて来館者同士が学びあおうとする姿が見られた。

② 高校生と地域の人がしめ縄を作る様子

12/23（土）、家族で作るしめ縄イベントを開催した。例年しめ縄作りを行っていたが、今年度は、応用してクリスマスで活躍するリースも作ろうと企画のブラッシュアップを図った。作品写真の発信が功を奏したようで、当日は、リースの写真を見た高校生が来館してくれ、地域の大人や高校生、子どもたちがともに協力して、しめ縄を作ろうとする姿が見られた。

③ 高校生がじゃんけん大会を進行する様子

12/24（日）、クリスマス会を開催した。準備や片付けには翔陽高校生が関わってくれ、当日も、多くの企画に主体的な参加を見せた。企画内容を聞いて、じゃんけん大会の進行役を買って出たり、コンサートでは楽団の要請に応じて一緒に歌ったりするなど、自らも楽しみつつ、クリスマス会を盛り上げようと奮闘する姿が多く見られた一日となった。

サードプレイスの月次報告 – 来館者数と館内の様子（高津拠点 1~3月分）



[1月 高津拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	0	54	2	0	0	56
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	22	36	20	65	143	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	197	19	0	216		415

[2月 高津拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	7	73	2	1	0	83
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	21	50	11	42	124	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	240	17	0	257		464

[3月 高津拠点の利用状況]

高校生	益田高	翔陽高	明誠高	益田東高	その他	小計
	1	28	0	2	38	69
地域の大人	10・20代	30代	40代	50代以上	小計	
	34	85	62	96	277	
その他	小学生	中学生	専門・大学	小計		合計
	400	38	0	438		784



サードプレイス開館時の館内の様子



① 高校生が餅つきの企画を立てる様子

1/10（水）高校生2名が、2月に予定されている餅つきの企画に関わりたくないと申し出てくれた。これまでも家庭クラブ委員として高津拠点に関わりの深かった生徒であり、学校活動以外でも拠点に関わりたくなったと語っていた。学校との連携を通して高校生が個人的に高津拠点に足を運ぶようになり、その運営にまでも主体的に関わろうとしてくれた好例であると評価したい。

② 小学生と高校生がお茶会をする様子

12/17（水）小学生と高校生がお茶会を楽しんだ。小学生から高校生に対して声をかけたことで、校種を越えて和気藹々と話をする時間が生まれた。偶発的なお茶会だったが、楽しい時間を過ごせたようで、別れ際には小学生たちが「いつも来てほしい」と高校生にお願いする様子も見られた。安心安全な場作りによって、来館者の主体的な交流がもたらされたと考える。

③ 高校生が談話する様子

高校生が訪れ、雪合戦や談話を楽しんだ。そのうち1名は先月イルミネーションの設営をしてくれた電気科の生徒であり、当該生徒が拠点を紹介したいと同科の友人とともに来館した。初めて来館した生徒は「もっと早く知りたかった」と語ってくれた。現在、拠点の案内は総合学科に対してのみ行っているが、今後は全校に対して効果的な発信ができるよう検討したい。



サードプレイス開館時の館内の様子



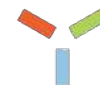
① 餅つき後に小学生と遊ぶ高校生

2/3（土）翔陽高校家庭クラブの生徒たちが来館し、地域の方と餅つきや豆まきを行った。イベント開始前から次々と来館者が訪れ、100人近くの方を迎えて大賑わいの企画となった。高校生たちは、家庭クラブの一環として餅つきの杵を振るったり、鬼に扮して豆まきを盛り上げたりしてくれ、予定された活動が終わった後も、来館した小学生と遊ぶなど、高津拠点において積極的に交流を深める姿が見られた。



② 高津拠点体験会・園庭ピクニックの様子

2/9（金）、複数小学校でカタリバが行われ、高校生3年生が語り手として参加した。午前の部終了後は休憩を挟み、午後からの高津小学校カタリバに合わせて再集合する予定だったが、休憩時間に「高津拠点体験会」を企画して生徒に呼びかけたところ、多くの生徒が訪れ、使い方の説明を受けたり昼食をとったりして楽しんでいた。児童館時代から本拠点を知っている高津出身の生徒もあり、今の高津拠点の样様に驚いたり、懐かしんだりする姿が見られた。



サードプレイス開館時の館内の様子



① 地域に届け！120パックのお餅作り！

3/10（日）高津拠点で開催された「連理松マルシェvol.5」に際し、翔陽高校生2名が運営サポートに入った。前日にも来館して打ち合わせを行ったのち、小学生と遊んで交流を深め、当日は早朝より餅つきの手伝いを行って、120パックもの餅を提供するに至った。天候にも恵まれて来場者の多い企画となり、お餅は好評のうちに完売した。

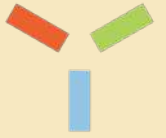
② 学校の悩みも相談できる安心空間

3/13（水）翔陽高校生4名が来館した。同日、課題研究最後の授業に際して、ユタラボ職員が春休みのイベント告知や、高津拠点でできること等をプレゼンしたことも来館を後押ししたようである。来館者の一人は部活動について思うことや、今後の部活動に関する相談を職員にし、少し気持ちが晴れた様子で高津拠点をあとにした。

③相談に来たはずなのに…？

高校生と小学生と一緒に遊ぶ様子

3/23（土）ユニバーサルデザイン椅子作りで来館した高校生が、課題研究の相談をしたいとのことで午後も高津拠点で過ごし、小学生と交流を深めていた。JRC部によるカレー提供も、終日過ごしたいと考える生徒たちを後押ししたようである。休日と言うこともあり、前述の児童・生徒以外に40名もの来館者数を記録した、賑やかな日となった。



サードプレイス 高津拠点の月次報告書
(実施イベントの様子 - 抜粋)

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（高津拠点 10月分）



イベント等の実施報告

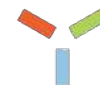
日時	イベント名	参加者数	内容
10月22日(日)14:00～16:00	ユタラボマルシェVol.4	167人	地域の小中高生や地域の方々が出店する手作り市



「ユタラボマルシェ」は、ユタラボと連理松センターの共催で年に3回ほど行われる、高校生も含めた地域住民が出店する手づくり市場である。

今回特筆すべき点は、普段サードプレイス利用をしている、翔陽高校生が「スーパーボールすくい」の出店をしたり、若手社会人が「射的屋」や「ジュース販売」の出店をしたりと、サードプレイス利用者による地域活動へ一歩踏み出す機会となっていたことである。子どもから大人まで、合計167名の来館があった。

サードプレイスの月次報告 – イベントの様子（高津拠点 12月分）



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
12月20日(水)	連理松センターイルミネーション点灯式	43人	小・中・高校生を含む、 地域住民が参加できるイルミネーションの点灯式



益田翔陽高校電気科の生徒たちが、サードプレイス高津拠点を彩るイルミネーションを設営し、12/20（水）に点灯式が行われた。点灯式まで、高校生たちは何度も来館して準備にあたり、そのなかで中学生との交流や協働も見られた。日ごろ高津拠点を利用している中高生が、この空間をより魅力的にしたいと、それぞれの持ち味を活かして活動する場面はこれまでもあったが、本企画もサードプレイスの魅力化を、高校生たちが学校での学びを活かしつつ主体的に行ったものであると評価したい。設営準備に際して、高津拠点を盛り上げようと日ごろから活動している高津中学校の生徒たちも参入した。高校生の依頼で、中学生たちがイラストを描き、色とりどりのスタンドグラスがライトアップされるに至った。日頃からサードプレイスとして安心できる場所の中で交流がなされていたことで、このたびの協働が実現し、中学生と高校生の活動が結びついて高津拠点に還元されたと言える。なお、イルミネーションは今後も中高生のやりたい形を反映しながら増設され、1月16日まで点灯される予定である。





イベント等の実施報告

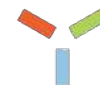
日時	イベント名	参加者数	内容
2月16日(金)	連理松センター椅子作り	9人	連理松センターに設置する 地域住民が利用できる椅子の作成



高津拠点は現在、益田翔陽高校総合学科の授業に協力する形で、2年生によるユニバーサルデザインの椅子作りをサポートしている。

2/2（金）、2/16（金）は、高津拠点到設置する予定となっている椅子を実際に組み立て、多くの作品が形を表してきた。これらの椅子は、1月に西部技術校の先生方から、ユニバーサルデザインの観点からアドバイス受けながらデザインの修正を重ねてきたもので、子どもから高齢者まで、高津拠点を利用する全ての人々が安全に使えるものを提供したいという高校生たちの想いが結晶した作品となっている。生徒たちは高齢者にとって立ち座りが楽な角度や、手すりの位置を検討したり、子どもたちにとって安全で、親しんで利用してもらえるデザインを考案したりと、協力して意見を出し合いながらいきいきと制作に励んでいた。

3/23（土）には、高津小学校の児童とともに高津拠点で着色をする予定である。高校生と小学生で交流を深める場となることが期待される。



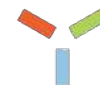
イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
3月10日(日)	連理松マルシェvol.5	189人	小・中・高校生を含む、地域住民が出店できる手作り市場



3/10（日）、連理松マルシェvol.5が開催された。毎回大盛況の本イベントであるが、今回は過去最多となる189名の参加者を記録し、開始の1時間前から子どもたちが次々と来館する様子からも、地域の方から非常に期待されている企画になっていることがうかがわれた。

高校生はお餅作りや射的の運営サポートを行い、地域の方や小学生との交流を深めることができたようである。初めて出店する人が過ごしやすい場作りを意識して開催を重ねてきたイベントであるため、今回も新しいことにチャレンジしてみたい小学生や若手社会人の出店があったが、益田拠点をサードプレイスとして利用している人たちも多く出店やサポートに入っていたことが特筆すべき点である。また、アメリカの定番お菓子や、ブータンのカレーなど国際色豊かな店舗も多く、来館者にとっては、普段あまり触れる機会のないものに触れ、異文化理解を深める機会にもなったようであった。



イベント等の実施報告

日時	イベント名	参加者数	内容
3月23日(土)	ユニバーサルデザインの椅子制作	9人	高校生によるユニバーサルデザインの椅子作り



高津拠点はこれまで、益田翔陽高校総合学科の授業に協力する形で、2年生によるユニバーサルデザインの椅子作りをサポートしてきた。

3/4（月）3/18（月）の両日に高校生たちが椅子作りの仕上げや最後の調整を行い、3/23（土）には、高津小学校の児童とともに高津拠点で椅子にペンキを塗って完成を迎え、高津拠点に設置をした。当日、拠点は多くの高校生と小学生で賑わい、来館した中学生が手伝う姿も見られた。椅子作りののちは、益田翔陽高校家庭クラブによるカレーの振る舞いをみんなで囲み、楽しい昼食タイムを過ごした。一つの作品を一緒に作ったという連帯感もあり和気あいあいと交流する様子の参加者たちだった。

地域の児童・生徒の様々な活動や挑戦に際して、その後押しをしたり、地域の大人との出会いを提供したり、場を提供したりしている高津拠点であるが、これまでに築いた実績や関係性を掛け合わせて、これまでにない形の協働ができるイベントを実施し、校種を越えた児童・生徒たちの交流をもたらした好例と言える一日であった。